

# 好生館だより

好生館

KOSEIKAN DAYORI

[メッセージ]  
理事長のあいさつ、館長から一言……p1

[好生館ニュース]  
第23回 好生館医学会報告 他……p2

[診療科の紹介]  
腫瘍内科・緩和ケア科……p3

看護部だより……p4

栄養の豆知識  
知っていますか 検査の話……p5

感染制御部だより・医療安全管理部だより  
診療支援部門紹介……p6

開放型病院登録医のご紹介  
地域医療連携センターだより……p7

相談支援センターだより……p8

新任医師の紹介……p9-10

リレー・フォー・ライフ……p10

外来医師一覧表……p11



平成27年2月24日、嘉瀬小学校より車椅子を寄贈していただきました。



地方独立行政法人

佐賀県医療センター 好生館

〒840-8571 佐賀市嘉瀬町大字中原400番地  
TEL.0952-24-2171(代表) FAX.0952-29-9390  
<http://www.koseikan.jp/>



理事長のあいさつ

理事長

中川原 章

## 好生館181年目の志と改革

好生館は、昨年、創始180周年を迎え、記念式典を開催することができました。天保5年(1834年)鍋島直正公により開設された医学館・医学寮に始まり、明治5年(1872年)からは県立病院となりましたが、平成22年(2010年)に地方独立行政法人化(独法化)され、新しい時代を迎えることになりました。したがって、県立病院の時代を経ること138年、その間、わが国が経験した複数の戦争と苦難、そして繁栄と衰退の歴史を乗り越えて、今日の好生館があります。西洋医学を導入した日本最古の病院として船出した好生館が、県民の温かい支持により180年を経た今日に至っており、心より感謝申し上げる次第です。

しかしながら、わが国は超少子高齢化社会を迎え、人口減少が現実になった中で、佐賀県における好生館の役割も大きく変わろうとしています。独法化後、好生館の組織運営は著しく改善されましたが、好生館が新しい時代に即した県民ニーズに応えるためには、私達職員の更なる意識改革と改善努力、そして将来へ向かう新たな志が求められていると思います。

そこで、平成27年の標語は「好生館181年目の志と改革」としました。内部改革を継続的に進めるとともに、地域医療連携をさらに強化し、地域包括ケアシステムの構築に貢献する体制を推進するほか、県民のために、体にやさしく安心できる良質な医療を提供することを目指していきたくと思います。

県民の皆様の温かいご支援と医療関係機関のご協力を、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 館長から一言

館長

樗木 等

春は別れと出会いの季節です。皆様におかれても、悲喜交々の新年度をお迎える事と拝察します。

好生館は今年度、基幹型の初期研修医を8人(の予定)を含め、医師、看護師、その他多くの新職員を迎えます。新職員は好生館全職員の10数%にあたります。新職員を迎えるにあたっては教育研修が大変ですが新陳代謝が進んでいることの証左であり、病院の楽しみでもあります。医療プロフェッショナリズムを念頭に、しっかりと教育研修して患者さんに愛される、信頼される医療人養成を目指します。

今年度より本格的に地域包括ケアシステムが始まります。好生館は急性期病院としての役割を活かし、医療連携を一層充実して参画して参ります。

好生館が継続してめざすものは安心安全な医療提供です。医療関係者の皆様、患者ご家族の皆様と益々の連携を充実して実現したいと思います。

今後とも皆様のご支援ご鞭撻を宜しくお願いいたします。





## 第23回 好生館医学会報告

腫瘍内科、化学療法室部長  
嬉野 紀夫

第23回好生館医学会準備委員長を務めさせていただきました腫瘍内科の嬉野です。第23回好生館医学会の年間テーマは、「好生館のがん診療のいま、そしてこれから」でした。好生館医学会の年間テーマに「がん」を取り上げるのは実に20年ぶりでした。好生館医学会のコンセプトとしての「好生館のがん診療を理解すること」に重点を置き、各月に行う例会においては、各診療部門より、「どんな診療を行っているか、これから目指す診療は」について発表をいたしました。また、4月の例会では、古川次男佐賀県医療統括監・兼がん対策総括監より「佐賀県民の健康で楽しい人生のために～がんを生きる社会作り～」の演題名で行政の立場よりご講演いただきました。7月の例会では当館中川原章理事長が「好生館のがんセンター構想」の演題名で講演をしました。

また、年間を締めくくる第23回好生館医学会総会を2014年12月13日に行いました。一般演題に15演題の発表、特別講演では佐賀大学医学部血液・呼吸器・腫瘍内科の木村晋也教授に「分子標的薬って、どうして効くの？」の演題名でご講演いただきました。第23回好生館医学会は、今後当館が重点項目にしていく「がん診療」に特化した医学会で、充実した内容の濃い医学会となり総会を持って幕を閉じました。



## バス待合所が 完成しました

新病院建設部建築係長  
馬場 直人

好生館では新病院への移転の際に正面玄関前にバス停を設置し、現在、佐賀市営バス・昭和バス・祐徳バスの3社が乗り入れ、佐賀駅バスセンター・久保田・諸富・唐津・武雄・鹿島の各方面へ平日で1日115便のバスが発着しています。

バス停周辺が吹きさらしになっているため、雨の日や寒い日にはご不便をおかけしていましたが、このたび玄関横にバス待合所が完成し、2月6日よりご利用いただけるようになりました。

なお、利用時間は7時30分から21時30分までとなっています。

待合所の壁はバスの到着がよくわかるように3面をガラス張りとし、室内は冷暖房を備え付けておりますので、お気軽にご利用ください。



## 日本医療マネジメント学会 第13回佐賀支部学術集會を 開催しました



館長  
樽木 等

2015年2月28日(土)「地域包括ケアシステム～医療機関のかかわり～」をテーマに佐賀市のアバンセにて開催しました。

学術集會では、一般演題30題に加え、10題のポスターコーナーを設け、特別講演として厚生労働省審議官 原 勝則先生に「地域包括ケアシステムの構築と医療機関のかかわり」をテーマにご講演をいただきました。

また、シンポジウムとして「地域包括ケアシステムをシームレスにするためには」をテーマに佐賀県でこの事業に深く関連し、ご活躍の4人のシンポジストに佐賀県の現状とこれからの展望をご教示していただきました。

医療、介護、福祉機関がお互いに情報共有を行い、県民に安全・安心な地域包括ケアシステムを提供しなければならないことについて、理解を深めることができました。



## 好生館がん県民 公開講座報告

「がん療養 住み慣れた家で自分らしく暮らす」  
～からだ・こころ・くらしを支える在宅ネットワーク～



がん統括診療部長  
佐藤 清治

2月14日(土)、好生館においてがん県民公開講座を開催いたしました。

がん在宅療養を支える緩和ケア、訪問診療、訪問看護、そして医療ソーシャルワーカーのそれぞれの視点から5名の方に講演いただきました。

特別講演はご自身ががん患者であり、がんと向き合いながら闘い、とても自分らしく生きておられる稲川素子さんによる感動的なお話でした。

また、認定看護師による相談コーナーやがん地域連携パス、患者会情報コーナーなどの紹介ブースも設置し、院外から320名の方が来館、聴講されました。講演会場にお入りになれない方には1階のエントランスホールに設置しました特設スクリーンで聴講戴くことで、盛会・好評のうちに終えることが出来ました。

次回も有意義でわかりやすい講座を企画させていただきます。

腫瘍内科

## 腫瘍内科の取り組み

腫瘍内科  
部長

嬉野 紀夫



好生館は、地域がん診療連携拠点病院として、平成20年7月よりがんの化学療法を専門とする腫瘍内科を設置し、抗癌剤によるがんの治療に力を入れています。

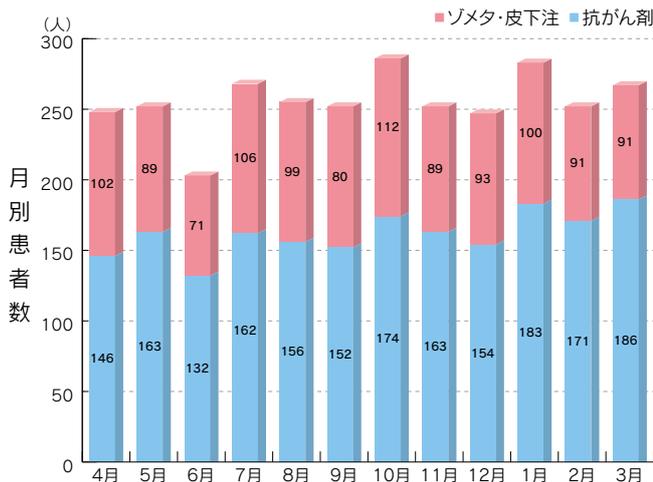
腫瘍内科では、安全で効果的な抗悪性腫瘍薬療法を実践するために、医師、看護師、薬剤師による専門性の高いチーム医療の実践を行っています。

新規抗癌剤の登場、既存薬剤の併用療法・投与方法の進歩により、がん治療における薬物療法の役割は急速に増大しています。しかし、標準治療の変化に伴う投与方法の変更や多様化、分子標的治療薬などの新規薬剤の導入、

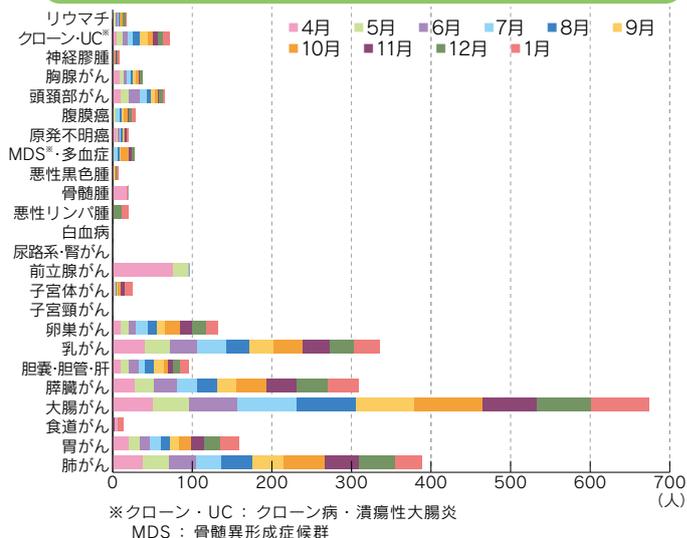
副作用や薬物相互作用の変化・多様化など、診療上考慮すべき点が非常に多いのが現状です。また、抗癌剤治療には副作用が避けられませんので、腫瘍内科医は抗癌剤治療の専門家として、効果を最大限に引き出しつつ、副作用を最小限に抑える努力をしています。

また、好生館では、患者さんの生活の質(QOL)を重視する観点から外来化学療法を積極的に行っています。この外来化学療法の中核となるのが外来化学療法室で、標準化された抗癌剤治療を外来で安全に施行しています。

2013年度 外来化学療法室患者数(3,065人)



2014年度 外来化学療法室疾患別患者数(1月現在)



緩和ケア科

## 変わりゆく緩和ケア、 変わらないいのち

緩和ケア  
センター長

小杉 寿文



皆さんは、緩和ケアと聞くと何を連想されますか。やはり終末期、ターミナル・ケア、ホスピスなどを想像され、場合によっては「死」を連想されるかもしれません。それは決して間違いではありません。「死」に近い時期のケアも大切な仕事です。しかし、最近の考え方では、「死」に直結しなくとも、病気によってもたらされる身体と心の苦痛を和らげて、病気や治療に向きあってゆくことのお手伝いをすることが緩和ケアの大切な仕事となってきました。多くはがん患者さんのお手伝いですが、心臓や腎臓、肺や肝臓、認知症

などの難しい病気をお持ちの方にも、何かお手伝いができるのではないかと、研究が進められています。

考えてみれば痛みで苦しんでいる患者さんに痛み止めを使う事、不安や寂しさで辛い夜を過ごしている患者さんのそばに寄り添うことは、医療者としてだけではなく、人間として当たり前のごとです。しかし、病気ばかりを見てきた我々医療者はその当たり前のごとすらできていませんでした。病気だけを診ることを反省して、人間を診る、いのちを大切にすることが医療の原点であり、私たち緩和ケア科の出発点です。



## 「生と死を考える授業」 緩和ケア病棟訪問

毎年12月に、多久市立東部中学校の生徒が好生館の緩和ケア病棟を訪問しています。

この行事は、中学校の「生と死を考える授業～いのちを見つめる～」の取組みの一環として平成17年より行われ、今年で10回目となりました。

26年度は12月12日・19日の2日間に分かれ、56名の中学生と教員の参加がありました。当館のボランティアもこの活動に参加しております。

生徒たちは、サンタクロースやトナカイに変身し、緩和ケア病棟の患者さんたちの前でハンドベルの演奏、歌のプレゼントなどを行いました。やさしいハンドベルの音と、心を込めて歌う姿は、患者さんたちはもちろん、医療スタッフの心も和ませ自然と笑顔になるひと時でした。

手作りの  
クリスマスカード



患者さんとの交流では、  
生徒と嬉しそうに話をする患者さん、  
自分自身の家族のことを想い、  
目を潤ませ涙する生徒の姿がありました。

19日は、看護師長と一緒に病室を訪問し、入院患者さん全員に手作りのクリスマスカードを手渡しました。

これは、多久市立東部小学校・中学校の生徒が心を込めて作ったものです。突然の素敵なプレゼントに、患者さんたちはとても喜んでおられました。

この経験は、「中学生たちにとって、命の尊さや人は周囲の支えの中で生きていることを感じ、本当の思いやりの心とはどのようなものなのか考える機会となり、生徒たちの顔つきが違っている」と教員の方々よりうれしい言葉を頂いています。

栄養の豆知識

## アスパラガス

～佐賀県特産の旬野菜です～

栄養管理部  
管理栄養士 梶 美紗子



春の花々が色鮮やかに咲き誇るこの時期、ビニールハウスの中でグングン伸びている、佐賀県の特産品“アスパラガス”の特徴をご紹介します。

アスパラガスは“アスパラギン酸”というアミノ酸を豊富に含みます。その名のとおりアスパラガスから発見された成分で、アスパラガス特有のうまみも、このアスパラギン酸によるところが大きいようです。疲労回復を早めたり、皮膚の新陳代謝を活発にする働きがあるといわれています。

また、毛細血管を丈夫にし、高血圧や動脈硬化の予防につながるといわれるポリフェノール的一种“ルチン”や、抗酸化作用のある“カロテン”も豊富です。しかも、これらの作用を強める“ビタミンC”も含んでおり、昔からアスパラガスのヘルシーパワーが期待されています。

栄養もうま味も豊富なアスパラガス。油がカロテンの吸収をよくするので、炒めたり、天ぷらにしたり、また、茹でてサラダや和え物にしてもおいしくいただけます。

和・洋・中、様々な料理に取り入れて、旬を味わいましょう。



知っていますか？

## 検査の話

## 検査部で遺伝子検査、始めました

検査部 病理形態検査部門  
主任技師 中村 朱



昨年11月より当館検査部において遺伝子検査を開始しました。

遺伝子検査はいくつかの検査がありますが、当検査部ではがん治療に関する遺伝子を対象としています。がん治療の進歩は目覚ましいものがあり、治療は主に手術、放射線療法、薬物療法と分けられますが、なかでも、「薬物療法」は進歩が著しいと言われていています。理由の1つに挙げられるのが、「分子標的薬」といわれる新しいタイプの薬剤の登場です。「分子標的薬」とは、細胞のがん化に関係するいくつかの特異的な遺伝子を標的にしています。

今回当館では、特異的な遺伝子の中でも、肺がんに関するEGFR遺伝子と大腸がんに関するKRAS遺伝子について検査を開始しました。

これらの遺伝子に異常がある患者さんとい患者さんでは、分子標的薬による治療効果に差が認められることがわかっています。がん治療を行うにあたって、より効果的な治療法を選択するために必要な検査です。

これまで遺伝子検査は、当館では外部委託として運用してきました。今回のように館内検査に移行することは少しでも早く検査結果を医師に報告でき、早期の治療開始に繋がると考えられます。

今後、検査部は患者さんの早期治療に貢献できるように、検査項目数を徐々に増やしながらか、遺伝子検査に積極的に関わっていきたくと考えています。



## 感染制御部だより

### ICTラウンド

感染制御部  
感染管理認定看護師 三好 恵美子



ICTとはインフェクションコントロールチーム(Infection Control Team)の略称です。病院内で起こるさまざまな感染症から患者さんや職員を守るために活動を行う組織で、医師、看護師、検査技師、薬剤師などから構成されています。

ICT活動の一つにラウンドがあります。好生館では、毎週月曜日に一般病棟をはじめ、外来、救命救急センター、

手術部、リハビリテーションセンターなど、あらゆる場所の感染対策の実施状況の確認や現場スタッフと感染対策上の問題の意見交換を行っています。今年度は、手指衛生の実施、環境整備、医療廃棄物の分別などを中心に行っています。定期的なラウンドを通して、感染症拡大防止に努めています。



## + 医療安全管理部だより

### 薬剤投与間違い防止に対する当館の対策

医療安全管理部  
GRM 森田 洋子



薬剤投与間違いを防ぐ対策として、抗がん剤の投与間違いは致命的な結果を招くことから、当館ではレジメンシステムでしか抗がん剤はオーダーできないことにしています。

また、12月に大阪急性期・医療センターの一般病棟で抗菌薬「マキシピーム」が投与されるべきところ、筋弛

緩薬「マスキュレート」が投与され死亡するという事例が発生していました。マスキュレートは毒薬です。薬剤師は鍵がかかった棚からマスキュレートを取り出し、一般病棟に払い出しています。薬剤師は「抗菌薬を処方していると思い込んでいた」という趣旨の説明をしています。

この事例を受け当館ではマスキュラックスは原則として病棟で使用しない。手術部・救命センター、ICU、NICU以外へは払い出しを行わないという対策を決めました。



## 診療支援部門紹介

### マンモグラフィーについて

放射線部  
主任技師 草場 啓子



乳がんは女性の12人にひとりが罹患するといわれています。マンモグラフィ(乳房専用X線検査)で、しこりとして触れない早期の乳がん・乳腺疾患を発見できます。

検査は4名の女性技師で対応しています。撮影は個人差がありますが、乳腺を広げるための圧迫時に痛みを伴うこともあります。患者さんにリラックスしていただけるよう優しい検査を心がけていますので、安心して受けてください。

当館ではマンモグラフィ検診施設画像認定を取得しており、撮影認定技師が品質管理、線量管理等において高品質の画像獲得に貢献しています。また、患者会との交流、乳がん啓発のピンクリボン活動にも積極的に参加しています。

今後も乳がんの早期発見、早期診断のため尽力していききたいと思います。



### リハビリテーションについて

リハビリテーション・センター  
リハビリ士長 片瀬 宏輔



当センターの役割は、発症または術後早期からの急性期リハビリテーションの提供により、障害を可能な限り回復させ、残された機能を最大限に活用し、より自立したその人らしい社会生活を送れるように支援することです。運動器、脳血管、内部障害の3つのユニットに分かれ、多職種によるチームアプローチの推進に取り組んでいます。

急性期の段階からリハビリテーションの目標を明確にし、地域関連施設との円滑な連携も含めて、患者さんの生活を支援できる体制作りにも努めています。



リハビリテーション室



リハビリ庭園

## 開放型病院登録医のご紹介

### 医療法人 平林胃腸科外科

〒840-0031 佐賀市下田町2-23  
TEL 0952-22-5390

平林 雅彦院長

好生館の先生方にはいつも大変お世話になっております。

私は昭和53年に1年目の研修医で好生館外科に在籍して以来、好生館の変化をずっと見てきましたが幾多の先輩方が努力され医学の進歩に伴って着実に発展してきていると思います。

平成5年に下田町で胃腸科外科を開業して以来、消化器外科を中心としてほぼ全科にわたってお世話になっておりますが、この21年間一度も紹介を断られたことはなく、日々私たちが安心して診療が出来るのは困ったときにはいつでも相談できる好生館が有るからと感謝しています。

この伝統有る好生館がますます発展することを祈念します。



平林 雅彦院長

### 医療法人九曜会 こが内科こどもクリニック

〒840-0034 佐賀市西与賀町大字厘外859-15  
TEL 0952-24-0541

古賀 貴文院長

平成3年に初代の後を引き継ぎ、こが内科・こどもクリニックに名称変更し、内科と小児科の専門医が診療を担当し24年目になります。当初より好生館との連携は強い関係でしたが、好生館の移転後、距離的にも更に近くなり、より強力な連携関係となっています。

また、患者さんの問い合わせ先として動いている地域医療連携室の皆様に感謝いたします。内科(院長)の専門である消化器領域の超音波以外に血管(頸動脈・椎骨動脈・末梢動静脈) 乳腺、甲状腺の超音波検査を行っており、循環器内科、脳血管内科、心臓血管外科への紹介がこの数年増加し、特に糖尿病の患者さんの無痛性心筋虚血の拾い上げに頸動脈エコーの有用性を実感しています。小児科(副院長)は、一般小児疾患の他にアレルギー、子供の心相談医として診療をおこなっています。

今後とも患者さんにより有益な連携関係を築きたいと思えます。好生館のすべてのスタッフの皆様よろしくお願いいたします。



古賀 貴文院長 古賀 益子副院長

## 地域医療連携センター

地域医療連携室

副室長 徳永 尚子



地域医療連携室(連携室)では、紹介患者さんの時間指定予約を行っております。また、専用の紹介受付窓口を設置し、受付事務、医師、外来看護師、連携室スタッフが協力し、待ち時間短縮とスムーズな診察に努めています。

紹介患者の時間指定予約については、全診療科で予約が出来るように準備を進めています。患者紹介の際には、是非ご利用ください。

連携室からのお願いですが、患者さんを紹介さ

れる場合は、当館の外来担当一覧表を確認されて患者さんへ受診の説明をお願い致します。

今後も地域の医療機関との連携推進、顔の見える連携を目指して活動を行って参りたいと思えますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



〈地域医療連携室のメンバー〉

後列左から:小野、小杉、久保、深町、大野、水田  
前列左から:東島、徳永、川副、秀島



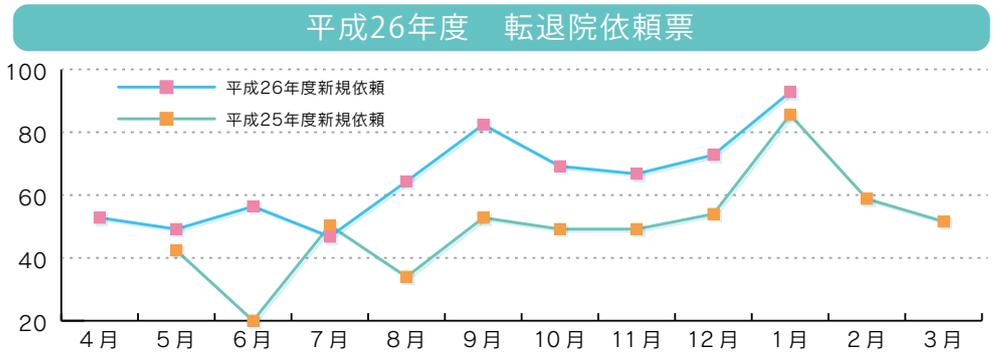
## 一般相談支援室について

相談支援センター 一般相談支援室  
副室長 田代 加代子



一般相談支援室（MSW4名、看護師1名、事務1名）では、入院中の患者さんはもちろんですが、外来通院中で在宅や施設で過ごされている患者さんご家族が、医療・介護・福祉のことで困ったときなどに気軽に相談できる窓口を目指しています。医療情報の提供、無保険者の整備、医療・介護・福祉関連の研修会の企画開催を行っています。地域の多職種からの相談にも対応しています。一般相談支援室では、転退院支援が大きな比重を占めております。

患者さんの入院後に転退院支援へ早急につながれるよう、退院支援スクリーニングシートを作成し、病棟退院調整看護師との連携を図りながら、退院支援計画書を立てることで、よりお1人お1人の希望や病気の状態に応じた療養先のお手伝いができるように努めています。急性期医療から在宅移行へのシームレスケアを目指し、今後もQOLを保ちながら、どのようにQOD (quality of death) をむかえるのか、看取りまでを視野に入れての対応ができる好生館独自のシステム構築に努めていきたいと思っております。



## がん相談支援センターについて

相談支援センター がん相談支援室(センター)  
副室長 田代 加代子

がん相談支援センター（MSW1名、看護師1名、がんパスコーディネーター1名、事務1名）では、がん情報コーナーを開設し、がんに関する情報（雑誌・地域の情報・体験記・DVD等）をそろえています。がん相談支援センター横の県立図書館分館にはがんに関する情報が検索できるパソコンを設置しています。ご自身やご家族、大切な人が、がんだとわかったときに一人で抱え込むことなく気軽に相談できる窓口を目指しています。地域の多職種とも連携をとりながら、がんになっても患者さんご家族が住み慣れた地域・街・家で、納得した治療や療養の場を選択し、安心して自分らしい生活ができるよう支えていきたいと考えています。

毎月、第3水曜日には、化学療法を受けている方の患者会「なごみの会」が開催されています。患者さんご家族、ピアサポーター、院内多職種（医師・看護師・MSW・栄養士等）による語り合いと社会保険労務士によるがんサバイバーの就労支援相談、マッサージ体験、がんに関する情報提供等を行っています。

### 化学療法を受けている方の患者会 『なごみの会』のご紹介

**開催日時** 毎月/第3水曜日 14:00～16:00 **内容** ・お茶会での語り合い  
都合により日時が変更になる場合もありますので、事前にご確認ください。  
・マッサージ体験

**場所** 佐賀県医療センター好生館  
2階多目的ホール  
・社会保険労務士による  
相談、情報提供

**問い合わせ** がん相談支援センター TEL:0952-28-1210(直通)

## ピカピカリンクのお知らせ

### 掛かり付けの先生から好生館のカルテ記事が読める様になりました

佐賀県では、ピカピカリンク（佐賀県診療情報地域連携システム）を用いて、投薬、注射、検査、画像検査（レントゲン、CT、MRIなど）の情報を登録医療機関の間で共有しています。診療情報を共有することで、検査の重複、薬剤の重複投与や併用禁止薬剤の投与などを防ぐことができ、中核病院と地域の先生との間の安全で一貫した医療を受けることができます。



副館長 林田 潔

好生館では、この度さらに、これまでは参照出来なかったカルテ記事を、県内で初めて、参照できるように致しました。レポート（放射線、内視鏡、病理）も併せて参照できますので、共有情報が充実し、理想の地域医療連携に一步近づいたと思います。（同意された患者さんのカルテだけを、同意された医療機関にだけ開示します）



新任医師の紹介 [1~4月]



小児外科  
部長 村守 克己



呼吸器外科  
部長 寺崎 泰宏



小児科兼  
周産期母子センター  
部長 西村 真二



小児科  
部長 稲田 浩子



皮膚科  
部長 古場 慎一



脊椎外科  
部長 加藤 剛



精神科  
部長 石丸 正吾



総合内科  
医長 森塚 達也



血液内科  
医長 横尾 眞子



循環器内科  
医長 山口 尊則



循環器内科  
医長 中村 郁子



脳神経外科  
医長 松本 健一



消化器外科  
医長 池田 貯



小児外科  
医長 上杉 達



整形外科  
医長 小宮 紀宏



小児科  
医長 在津 正文



眼科  
医長 久保 瑞恵



放射線科  
医長 安座間 真也



放射線科  
医長 西原 雄之介



消化器内科  
医師 中山 敦史



肝胆脾内科  
医師 中下 俊哉



循環器内科  
医師 中城 総一



腫瘍内科  
医師 小楠 真典



糖尿病代謝内科  
医師 那須 俊甫



呼吸器外科  
医師 岡本 祐介



小児外科  
医師 福田 篤久



脊椎外科  
医師 牛島 貴宏



小児科  
医師 浦島 真由美



産婦人科  
医師 光 貴子



放射線科  
医師 三田村 知佳



精神科  
医師 石井 博修



麻酔科  
医師 塚本 絵里



麻酔科  
医師 田邊 光和子



緩和ケア科  
医師 鶴池 直邦



呼吸器内科  
医員 小宮 奈津子



消化器内科  
医員 伊東 陽一郎



消化器内科  
医員 田中 智子



糖尿病代謝内科  
医員 中尾 仁美



腎臓内科  
医員 山崎 政虎



脳神経内科  
医員 森 法道



脳血管内科  
医員 榑 佑介



心臓血管外科  
医員 山元 博文



呼吸器外科  
医員 大庭 大治



消化器外科  
医員 奥山 桂一郎



消化器外科  
医員 堀田 千恵子



消化器外科  
医員 松藤 祥平



耳鼻いんこう科  
医員 峯崎 晃充



整形外科  
医員 松下 優



整形外科  
医員 戸田 慎



整形外科  
医員 清水 大樹



小児科  
医員 土井 大人



小児科  
医員 川崎 祥平



産婦人科  
医員 栗原 麻希子



泌尿器科  
医員 種子島 時祥



皮膚科  
医員 久場 友加里



放射線科  
医員 高尾 誠一郎



放射線科  
医員 石場 領



放射線科  
医員 高橋 浩平



麻酔科  
医員 森永 史帆



感染制御部  
医員 堂込 明子

### リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015の 開催に想いを寄せて



がん相談支援センター  
がん相談支援係長 大石 美穂



佐賀北高書道部による揮毫パフォーマンス  
(好生館 がん県民公開講座より)

リレー・フォー・ライフは、日本では「がん征圧」と「患者支援」を目的に2006年から開始され、2013年は全国42カ所で開催されました。今年、佐賀で初めて9月26日(土)14時～翌27日(日)14時まで、「がんには負けない佐賀をつくろう」「がん患者、家族、遺族、支援者のみなさん 大集合!!」をメインテーマに、24時間チャリティイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015佐賀」が、佐賀市のどんだんどの森で開催されます。

実行委員長は、歌手でパーソナリティの木原慶吾さんです。実行委員会大会副会長の当館 中川原章理事長は大会事務局のNPO法人クラブサポート(吉野徳親理事長様) 鶴田憲司事務局長とともに、PRや募金活動に奔走し、若い世代を含んだ協力者も増えつつあります。佐賀らしく、そして次の世代を担う若者も多く参加し、継続性のあるイベントとなるよう願っています。

# 外来医師一覽表

(平成27年4月1日現在)

区 分		月	火	水	木	金	
内 科	総合内科	新患 再来	森塚 達也/土居 隆志 —	土居 隆志 森塚 達也	森塚 達也 土居 隆志	土居 隆志 森塚 達也	森塚 達也 土居 隆志
	呼吸器内科	新患 再来	岩永 健太郎 安部 友範	加藤 剛 加藤 剛	加藤 剛 岩永 健太郎	岩永 健太郎 加藤 剛	加藤 剛 岩永 健太郎
		肝胆膵内科	中下 俊哉/河口 康典	秋山 巧	川添 聖治/中下 俊哉	川添 聖治	秋山 巧/河口 康典
	消化器内科	再来	中山 敦史	緒方 伸一	伊東 陽一郎	緒方 伸一	山本 甲二
		ピロリ外来(完全予約制)	—	—	—	山本 甲二(午前)	—
	血液内科	新患 再来	久富 崇 松石 英城	松石 英城 榎藤 久司/久富 崇	近藤 誠司 松石 英城	横尾 眞子 近藤 誠司/久富 崇	横尾 眞子 榎藤 久司
		腎臓内科	力武 修一	中村 恵	—	力武 修一	中村 恵
	糖尿内科	吉村 達(新患のみ)	吉村 達	吉村 達(新患のみ)	吉村 達	—	
	腫瘍内科	新患/コンサル 予約・紹介	嬉野 紀夫	小楠 真典	嬉野 紀夫/小楠 真典	嬉野 紀夫	嬉野 紀夫
		再来	嬉野 紀夫	嬉野 紀夫	嬉野 紀夫	嬉野 紀夫	小楠 真典
	感染症(予約・紹介)	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美	
	膠原病・リウマチ (14:00~16:00)	(第2・第4 金曜日) (毎週 金曜日)	—	—	—	—	多田 芳史 小野 伸之
	透析	中村 恵	力武 修一	中村 恵/力武 修一	中村 恵	力武 修一	
午 前	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医		
小児科	午後 (完全予約制)	アレルギー外来 乳児健診 予防接種	神経外来(第2・4) 予防接種	アレルギー外来 循環器外来 予防接種	1ヵ月健診	アレルギー外来 内分泌外来(第2・4) 血液外来 心身症外来	
循環器内科	午 前	貞松 研二 梅本 真太郎	吉田 敬規 中村 郁子	吉田 敬規 尾崎 功治	古閑 靖章 中城 総一	林田 潔 中村 郁子/仲野 泰啓	
	不整脈外来 ペースメーカー外来(予約制)	山口 尊則	—	—	—	山口 尊則(第3金曜日休診)	
精神科	午前・午後	石丸 正吾 石井 博修	石丸 正吾 石井 博修	石丸 正吾 石井 博修	石丸 正吾 石井 博修	石丸 正吾 石井 博修	
放射線科	放射線診断 ・IVR	相部 仁也 安座間 真也 西原 雄之介 川野 倫他	相部 仁也 安座間 真也 西原 雄之介 川野 倫他	相部 仁也 安座間 真也 西原 雄之介 川野 倫他	相部 仁也 安座間 真也 西原 雄之介 川野 倫他	相部 仁也 安座間 真也 西原 雄之介 川野 倫他	
	放射線治療	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄 (午後:徳丸 直郎)	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	
脳神経内科	午前	新患/再来 共有	高島 洋 (森 法道)	森 法道 高島 洋	森 法道 高島 洋	高島 洋 —	
	午後 (14:00~16:00) パーキンソン病外来(予約制)	検査・処置 —	回診 —	検査 —	回診 高島 洋	検査・処置 —	
脳血管内科	午前	上床 武史	杉 森 宏	石 東 光司	上床 武史/石 東 光司	杉 森 宏	
緩和ケア科	午前(再診)	完全予約制	—	—	—	—	
	午後(新患)	完全予約制	—	—	—	—	
禁煙外来	午後	完全予約制	—	岩永 健太郎 (14:30~16:30)	林田 潔 (13:30~15:30)	寺崎 康宏 (14:30~16:30)	
外 科	消化器外科	新患 (午前11時まで)	田中 聡也	隅 健次	古賀 浩木	池田 貯	姉川 剛
		再来	佐藤 清治	姉川 剛	池田 貯	隅 健次	田中 聡也
	肝胆膵外科	新患 再来	三好 篤	北原 賢二	三好 篤	古賀 浩木 (午前のみ)	北原 賢二
		乳腺外科	—	手術	白羽根 健吾/藤野 稔	手術	白羽根 健吾/藤野 稔
	呼吸器外科 (9:00~15:00)	新患 再来	手術	寺崎 泰宏	手術	岡本 祐介	手術
小児外科		村守 克己/伊崎 智子	岡本 祐介/大庭 大治	手術	寺崎 泰宏/大庭 大治	手術	
眼 科	午前	手術	手術	手術	手術	手術	
	午後	検査	検査	検査	検査	検査	
産婦人科	午前	婦人科	安永 牧生/野口 光代	安永 牧生/野口 早織	—	安永 牧生/光 貴子	
		産科	光 貴子	室 雅巳	—	北川 早織	
	午後	婦人科(紹介・予約) 産科(紹介新患) (14:00~16:00)	北川 早織 室 雅巳	光 貴子 室 雅巳	手術日 (急患のみ担当者)	栗原 麻希子 室 雅巳	手術日 (急患のみ担当者)
耳鼻いんこう科	午前	手術	手術	手術	手術	手術	
泌尿器科	午前	徳田 倫章/諸隈 太 内野 洋志/平田 侑	徳田 倫章/諸隈 太 内野 洋志/種子島 時洋	手術	徳田 倫章/諸隈 太 内野 洋志/平田 侑	手術	
歯科口腔外科	午前	完全予約制	野口 信宏/佐野 直人	野口 信宏/佐野 直人	野口 信宏/佐野 直人	野口 信宏/佐野 直人	
	午後	完全予約制	野口 信宏/佐野 直人	野口 信宏/佐野 直人	野口 信宏/佐野 直人	野口 信宏/佐野 直人	
形成外科	午前	増本 和之	—	回診	—	佐竹 義泰	
	午後	外来手術	手術	フットケア外来	手術	外来手術	
皮膚科	午前・午後(紹介のみ)	古場 慎一	—	古場 慎一	古場 慎一	—	
整形外科	午前	整形外科	前塚 隆男 本 伸 松 下 章 松 下 貴	手術	前塚 隆男 佛坂 俊輔 小宮 紀宏	手術	
		脊椎外科	加藤 剛・牛島 貴宏	—	加藤 剛・牛島 貴宏	—	
脳神経外科	午前	坂田 修治 (溝上 泰一朗)	井上 浩平 (松本 健一)	坂田 修治 (井上 浩平)	手術	溝上 泰一朗 松本 健一	
心臓血管外科	午前	手術	内藤 光三	手術 (午前中のみ 紹介・予約 樗木 等)	内藤 光三 学	手術	
	午後	—	回診	—	回診	—	
人間ドック	一般	林田 潔	井之口 香映子	榎藤 久司	榎藤 久司	井之口 香映子	
	脳ドック 心臓ドック	高島 洋 —	坂田 修治 —	杉 森 宏 —	上床 武史 樗木 等/林田 潔	高島 洋 —	
看護専門外来	完全予約制	江口 忍	江口 忍	江口 忍	江口 忍	江口 忍	